

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21908	
事業名	義務教育児童生徒遠距離通学助成費						
評価担当課	所属名	教)学校教育部 教育推進課					
	課長名	石田 建志	担当者名	湊谷 侖里	電話番号	011-211-3851	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	通学に係る保護者の経済的負担軽減				
		長期	通学に係る保護者の経済的負担軽減				
	取組内容	札幌市立小・中学校へバス等の交通機関を利用して通学する児童生徒の保護者に対して通学定期料金を全額助成する。 助成の対象となるのは、原則として住所に基づく指定校までの通学距離が、小学校で概ね2キロメートル以上、中学校で概ね3キロメートル以上ある児童生徒である。 対象者は、通学定期料金助成受給者証及び通学定期券購入書を交通事業者に提示して定期券を受け取る。教育委員会は、各交通事業者からの請求に基づき定期料金を支払う。					
実施結果	小学生1,068人、中学生233人に対し、通学交通費の助成を行った。						
事業実施における工夫点	引換券方式による現物給付を原則としており、利用者は立替払いすることなく定期券を利用することができる。						
対象者	助成受給児童生徒の保護者			開始	平成4年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市立小学校及び中学校の児童生徒に対する交通機関通学定期料金助成要綱						
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体で、一定の通学距離を要件とした、遠距離通学者に対する通学支援を行っている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	49,749	63,000	53,921	66,000	
うち特定財源	75	1,372	1,173	1,393	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	51,909	65,160	56,081	68,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	小学校 助成対象者1,068人 助成額39,656千円 中学校 助成対象者233人 助成額14,265千円			
	令和4年度予算	小学校 助成対象者1,186人 助成額47,577千円 中学校 助成対象者 275人 助成額17,709千円 端数調整 714千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	対象者への助成率		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		100%	100%	100%	100%
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	助成対象地域の調査を確実にし、対象者を漏れなく助成することが出来た。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	通学区域の設定上、徒歩通学が困難である児童生徒の保護者に対し助成を行っており、事業規模は適正と判断される。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	新入学生への入学前の周知は直接当課で行い、その他在校生への周知は学校から行うことで、漏れなく効果的な周知を行っている。また、引換券方式による複数月定期券の助成を原則としており、保護者負担の軽減や効率的手法による助成が達成出来ている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	助成対象者に対して全額助成を行っており、助成方法についても複数月定期の対応や申請の簡素化等、適宜改善することで対象者のニーズに応えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	助成対象者の的確かつ効率的な捕捉方法、助成の更なる効率化については、今後も改善の余地があると考えている。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	事業の目的は達成されている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 更なる保護者負担の軽減、事務効率化に向け検討を行う。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 必要な財源確保に努める。			見直し効果額